



JICA海外協力隊とは？

JICA海外協力隊は開発途上国の人々と一緒に生活しながら、その国や地域の課題解決に取り組みます。
これまで世界98か国以上に5万人以上の隊員が派遣されました。

計画・行政

国・地域づくりに関わる活動



農林水産

食べ物や自然に関わる活動



鉱工業

ものづくりに関わる活動



人的資源

教育やスポーツなど人を育てる活動



保健・医療

いのちに寄り添う活動



社会福祉

福祉に関わる活動



商業・観光

マーケティングや観光に関わる活動



公共・公益事業

生活サービスに関わる活動



エネルギー

エネルギーに関わる活動



9分野 190以上のシゴト

何年くらい行くの？

原則2年間です。

派遣される国はどこ？

アジア、アフリカ、中東、中南米、大洋州、東欧など。

対象者は？

日本国籍を持つ20歳から69歳までチャレンジできます。

SDGs (持続可能な開発目標)とは？

「**みんながずっと地球に住み続けられるようにする**」

「**みんなにとって幸せな未来にする**」ために

世界の国々がみんな考えた

17の目標

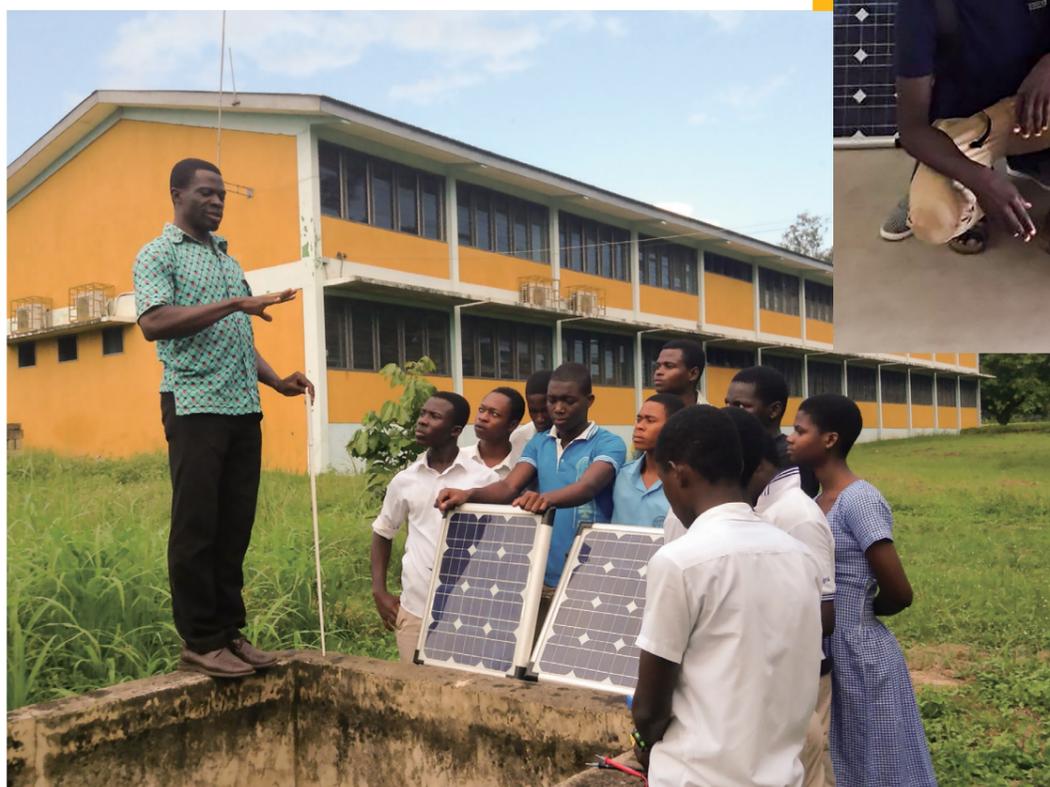
2030年に向けた世界の約束

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



太陽光発電でみんなと一緒に ガーナの未来を照らしていきたい

「停電が多いこの国で、
太陽光発電は
必要不可欠だ」



「僕たちの手で
作ってみよう!」

教員も生徒も一緒になって
隊員とともに作り上げたソーラー発電システムは
現在、そして未来のガーナを照らし続ける

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



派遣先 ガーナ共和国

職種 電子工学

氏名 みやざき たかよし
宮崎 貴芳

「ごみ」を通して見た世界



30度を超える暑さ、過酷な環境の中で、彼らはまじめに、決められたゴミ収集の仕事をキッチリこなしていた

彼らに仕事への誇りをもってもらいたい、そう考えこの仕事がなぜ必要なのか、この仕事の価値は何かを伝え続けた



空き缶などをお金に換える仕組みをつくと、至るところで子どもたちがゴミ拾いをするようになった
前より少し綺麗になった街を見て、子どもたちが将来この国をどんな国にしたいと思うようになるのか？
そう考えると楽しみになった

12 つくる責任
つかう責任



派遣先 マーシャル諸島共和国

職種 廃棄物処理

氏名 かなざわ まさふみ
金沢 正文

目線を合わせる



作って終わりじゃない、
その後が大事
歩みを合わせて
一緒に考えること

安全な水をいつまでも
飲み続けてもらうために
JICAがつくった地下から
水をくみ上げるポンプを
彼ら自身で
修理できるように
仲間と一緒に村を回った



6 安全な水とトイレ
を世界中に



派遣先 エチオピア連邦民主共和国

職種 コミュニティ開発(水の防衛隊)

氏名 さが ちひろ
佐賀 千紘

命のリレー



最初は私がやって見せて、
次は彼らが教える立場に
そうして技術を
伝えていくことで、
助かる命がひとつでも
増えてほしい

帰国後の目標ができた
次は国際救援の世界で
助けられる命を救いたい
今日も現場で
命と向かい合っている



3 すべての人に
健康と福祉を



派遣先 ラオス人民民主共和国

職種 看護師

氏名 ほそだ みか
細田 実香

手洗いで救える命がある



井戸水を汲んですべての生活を支える暮らし

地面に穴を掘って作ったトイレ、

上下水道はない

コレラや赤痢のような感染症で命を落とす子どもたちを減らすために村の小学校を回った手洗いを「楽しい!」と思ってもらえるようクイズや劇など工夫を重ねた



子どもたちが楽しそうに手洗いのマネをしてくれていた“命を守る手洗い”を子どもたちの手で広めてほしい—



6 安全な水とトイレを世界中に



派遣先 モザンビーク共和国

職種 コミュニティ開発(水の防衛隊)

氏名 あらい じゅんこ
新井 純子

相手の心に届く伝え方



「どうすれば彼らのやる気に火がつくのだろう」

病院や学校で栄養指導をしていた時に何度も自問自答した

「誰のためにやるのか」

相手に伝わる方法を模索しながら正しい食の知識を伝え続けた



ジャンクフードが並んでいた小学校の売店で野菜や果物が売られるようになったのを見て「子どもたちの健康を守りたい!」と販売員さんの心に火がついたことがとても嬉しかった

2 飢餓をゼロに



派遣先 フィジー共和国

職種 栄養士

氏名 みた ちひろ
満田 千紘